

# 時間学特別セミナー



## 「同期現象から考える時間学」

自然の事物には他の個体と結びつきを作って動作の周期を一致させる傾向があり、これがもとで自然に秩序が生まれる仕組みになっています。たとえば、無数の蛍が完璧に同期して光を点滅させる情景は感動的です。最近、生命のない物のあいだにさえ、この「同期」が自発的に生まれることも明らかになってきました。このような自然界のリズム現象の解明の第一人者である時間学研究所客員教授の蔵本先生（理論物理学・京都大学名誉教授）、甲斐先生（実験物理学・九州大学名誉教授）による特別セミナーを企画しました。自然界の物理現象をリズムと同期という視点から総合的に理解することを試みます。多数のご参加をお待ちしております。

日時：2013年3月27日（水）13:50～18:00

場所：工学部社会建設工学科 1F 会議室（常盤キャンパス）

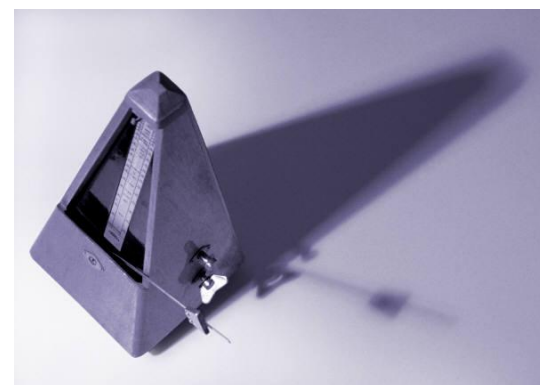
◇ 開会の辞 学術担当副学長 三池 秀敏

◆ 甲斐 昌一（九州大学名誉教授）

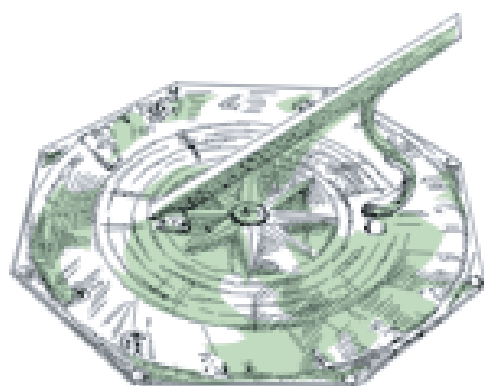
「リズムとノイズ」

◆ 蔵本 由紀（京都大学名誉教授）

「シンクロ現象の発見」



◇ 閉会の辞 山口大学時間学研究所長 進士 正人



山口大学時間学研究所客員教授による特別セミナーを開催致します。事前の予約なしでどなたでもご自由に参加頂けます。皆さまのご来聴を歓迎いたします。

お問い合わせ：平 田 083-933-（5 8 4 8）